

項目	主な議論の内容について	対策
スランプ規定の見直しについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>スランプの規定について、参考値としてスランプ値を設けて随時設計変更を実施する方法が良いか、設計段階から構造・配筋を考慮して適切なスランプを設定する方法が良いかについては、実際の運用状況等も踏まえ検討していただきたい</li> </ul>	資料3
建設生産プロセスで最適化を図る技術・工法の導入について	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産性を高める技術の導入促進にあたっては、なるべく上流段階から検討することが効果的</li> <li>発注ロットの大きさやスケールメリットを踏まえた設計・積算のあり方について検討していただきたい</li> <li>品質向上によるライフサイクルコストの低減、工期短縮、安全性向上等の効果を考慮することが必要。ただし、検討項目をあまり細かくすると負担がかかりすぎるおそれがあるので、バランスも考える必要がある</li> <li>生産性を大きく向上できる革新的な技術等をいかに導入していくか、ということも検討が必要</li> </ul>	資料4
建設現場におけるサプライチェーンマネジメントの導入について	<ul style="list-style-type: none"> <li>発注段階からきめ細やかな情報提供を行い、関係者間で工事発注情報を共有することは有益。この時、都道府県など地方公共団体の発注見通しも公開してもらうように働きかけることも重要</li> </ul>	資料5